

【市民向け認知症の講演会を行いました！】

2018年10月6日、医療法人清風会ホスピタル坂東の地域医療連携活動の一環として坂東市総合文化ホール ベルフォーレに於いて、久永医師が市民向けに「認知症と共に生きる」、「認知症になったらどうすればよいのか？」～備えあれば憂いなしの認知症生活覚え書き～と題して市民講演会を行いました。

講演では認知症における外部環境や最近の診断や治療について、臨床現場の経験を通じた視点も踏まえつつ講演を行いました。当日は土曜日の午後という時間にもかかわらず、多くの市民や関係者を中心に150名以上の方々に参加いただきました。



【久永医師によるわかりやすい認知症の講演】



【最後は全員でワッハッハ〜と声だし】

医)清風会ホスピタル坂東では地域の医療・介護・福祉に貢献すべく、今回のような市民向けの疾病の理解や予防に関する講演会活動のほか、医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ精神保健福祉士などによる病気や健康増進の啓発、啓蒙活動など幅広く行ってまいります。

清風会では引き続き、多くの患者さん、利用者さん、そしてその家族の方々への医療・介護福祉サービスを通じた貢献に努めて参ります。そして、何よりも医療法人清風会の職員がやりがいや信頼を持てる組織であり続けるべく努力して参ります。

清風会は医療事業において身体合併症など内科、整形外科機能も併せ持つ精神科病院主体の「ホスピタル坂東」、介護事業において「老人保健施設寿桂苑」のほか、生活訓練施設である「吉泉苑」、訪問看護「愛心会」、障害者地域活動支援センター「煌」、ライフヘルプセンター「昇祐会」、複数の精神グループホームなど多くの事業を通じて皆様へ適切な医療、介護・福祉サービスが提供できるよう、引き続き活動してまいります。また、医療機関や介護施設、行政などとの医療連携活動も重視しており、適切な治療環境や介護・福祉サービスが行なえるようネットワークを構築しております。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。